

「人権を確かめあう日」リレーメッセージについて

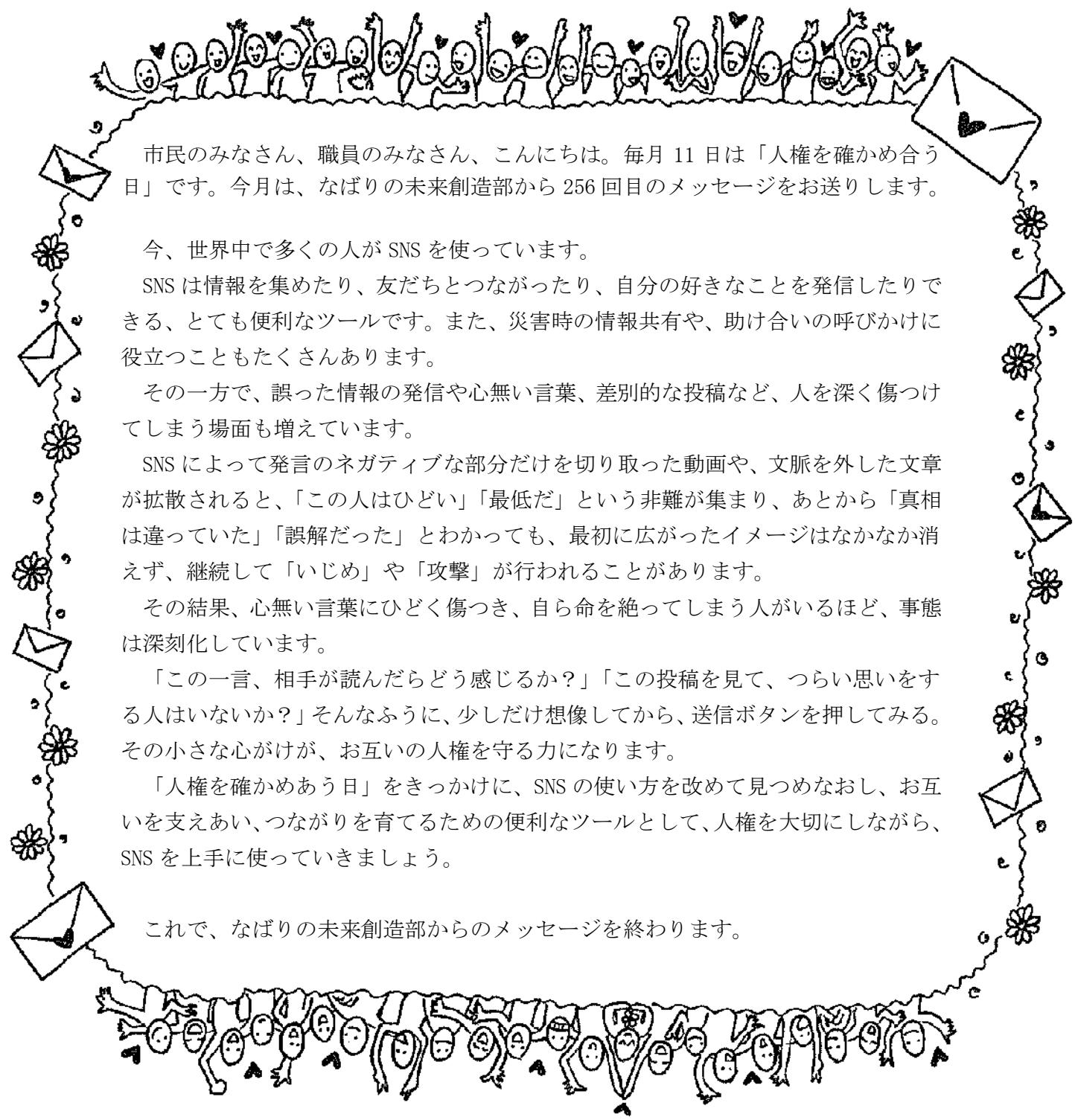
市では、2004年8月11日から、毎月11日を「人権を確かめあう日」と定めています。

そして、このことを多くの人に知っていただき、人権への思いを深めていただくため、

毎月11日に、庁内放送を利用して、リレー形式で各部局から人権に関するメッセージを朗読していただいている。今月のメッセージはこちらです。どうぞご覧下さい。

「人権を確かめあう日」リレーメッセージ No.256

2026.1.9 なばりの未来創造部



市民のみなさん、職員のみなさん、こんにちは。毎月11日は「人権を確かめあう日」です。今月は、なばりの未来創造部から256回目のメッセージをお送りします。

今、世界中で多くの人がSNSを使っています。

SNSは情報を集めたり、友だちとつながったり、自分の好きなことを発信したりできる、とても便利なツールです。また、災害時の情報共有や、助け合いの呼びかけに役立つこともあります。

その一方で、誤った情報の発信や心無い言葉、差別的な投稿など、人を深く傷つけてしまう場面も増えています。

SNSによって発言のネガティブな部分だけを切り取った動画や、文脈を外した文章が拡散されると、「この人はひどい」「最低だ」という非難が集まり、あとから「真相は違っていた」「誤解だった」とわかつても、最初に広がったイメージはなかなか消えず、継続して「いじめ」や「攻撃」が行われることがあります。

その結果、心無い言葉にひどく傷つき、自ら命を絶ってしまう人がいるほど、事態は深刻化しています。

「この一言、相手が読んだらどう感じるか?」「この投稿を見て、つらい思いをする人はいないか?」そんなふうに、少しだけ想像してから、送信ボタンを押してみる。その小さな心がけが、お互いの人権を守る力になります。

「人権を確かめあう日」をきっかけに、SNSの使い方を改めて見つめなおし、お互いを支えあい、つながりを育てるための便利なツールとして、人権を大切にしながら、SNSを上手に使っていきましょう。

これで、なばりの未来創造部からのメッセージを終わります。